



謹んで新年のごあいさつ申し上げます



謹賀新年

各地区会員の皆様、県教職員課・総務福利課の皆様、福利厚生団体関係者の皆様、旧年中のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。今年も引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

コロナウィルス感染症は依然として社会生活の妨げとなっている状況に変化はありません。経済活動との両立が叫ばれつつも、人々が対面に関わることを考慮すべき場面も多く、どのように想いを伝えればよいか考えさせられ続けています。

わたしたち「学校事務職員」は、学校が子どもたちにとって安心して学べる場であり続けることに力を発揮すべきであり、そのために同じ仲間（職種）と繋がること（緊密な連携）が大切であると、常々考えています。

本会の目的である、会則第3条「本会は、会員相互の親睦と緊密な連携をもとに、学校事務職員としての資質並びに社会的地位の向上を図り、もって本県の教育の振興に寄与することを目的とする。」を今一度、皆様と想い・考え・問い直していきたいと考えております。

また、今年も引き続き支援室や市町村・各地区の学校事務職員会・協議会等で、情報共有・連携が進められるよう、各種事業を着実に進めて参ります。

厳しい寒さが続きますが、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

県事協会長 寄井田 雅裕

第3回評議員会報告

11月24日（木）県教職員互助組合会館にて、第3回評議員会を開催しました。

冒頭に会長が「好転しないコロナ禍において、現状報告会をはじめ出来なかった事業もあったが、第8波の入口にあるとも言われている中で、この会を開催できて本当に良かった。昨年度からの本会での議論は、原点に戻って事業を見つめなおしてはどうかとのご意見だったように思う。それを受けて、理事会で来年度の計画について見直しの提起も含めて話し合った。大きく変わっていないと思うかも知れないが、少しずつ見直していければと考えている。」とのあいさつを行いました。

協議では、まず、今年度の事業計画の進捗について、県費事務改善検討委員会のマニュアル等更新作業状況、現状報告会（HP掲載による紙上発表）の総括、マニュアル更新に伴う印刷サービスや県事協CD整備の計画等を報告し、質疑応答・意見交換を行いました。

次に、次年度の事業計画について、基本的に今年度事業を継続する方針で策定を進めるが、県事協データ版については、HPへの移行を進めて、CDでの配布をやめる予定である旨、説明いたしました。評議員の皆様からは、理事役員の業務負担の軽減を図り、担い手を生み出しやすい環境にしてほしいなどといった意見が出されました。今回の議論の結果を、3月評議員会で提案する次年度計画の策定に生かしてまいります。

最後に、次年度予算編成について、今年度の執行状況、次年度事業計画を踏まえ、一人あたりの会費を年額1,600円とする予定であることを提案いたしました。現状報告会のレポーターが大島地区にあたっていることや、県費事務改善検討委員の増員を継続することによるものです。特に異論は出されませんでしたので、提案した内容に沿って予算編成を進めていきます。

今回の提案等について、各地区で協議・検討していただければと思います。

活動経過及び予定

- 11月16日 ホームページ更新
- 11月24日 理事会・第3回評議員会
- 1月13日 理事会・第3回常任委員会
- 2月下旬 県事協マニュアル等発送
- 3月8日 理事会・第4回評議員会

各地区の事務職員会等の紹介

南薩地区から

～ 指宿市の紹介 ～

指宿市は、鹿児島市から国道226号線を南へ約40km、薩摩半島の南端に位置する人口約39,000人の市です。指宿の由来が「湯豊宿」(ゆふすき?)と言われるほど古来より豊富な温泉に恵まれ、全国的にも「指宿温泉」で知られる有名な温泉地です。また、日本百名山の開聞岳やハワイのダイヤモンドヘッドに似ていると言われる魚見岳、スノーピーともコアラとも見えると言われる竹山、九州最大の火山湖である池田湖など火山により形成された美しい景色が多く見られます。



指宿は食の宝庫でもあり、温暖な気候を生かし、夏は「オクラ」、冬は全国に先駆け「そらまめ」・「スナップえんどう」の生産が盛んです。また、海に面した山川地域では、最高級品の鰹節「本枯本節」の日本一の産地としても知られています。他にも、トケイソウやマンゴー、たんかんなどの南国の果物も堪能することができます。

池田湖から望む開聞岳と最近できたおしゃれな建物

そんな指宿ならではの給食には、オクラやそら豆を使ったメニューや、11月24日に「いいふしの日」という語呂合わせで、鰹節を1人1パック贅沢に振りかけるメニューが提供され、楽しみの一つとなっています。



遠泳大会の様子(魚見小)と知林ヶ島から望む魚見岳

～ 事務職員会の紹介 ～

指宿市事務職員会は、小中学校14校14名で活動しています。令和3年4月に大成小・徳光小・利永小・山川小の4校が統合し、新山川小学校が誕生しました。事務職員も3名減りましたが、これまでどおり年7回の市研修会と研修視察(3年間中止)を行っています。

今後も児童生徒数は減少の一途にあり、学校規模適正化の動向が気になるところです。

～ 指宿でアロハ ～

最後に指宿のアロハを紹介します。指宿市では市が主体となって「いぶすきアロハのまちづくり」を行っています。毎年5月に「アロハ宣言」があり、5月から10月まで市内の官公庁を中心に「アロハシャツ」が公用服(ユニホーム)となり、市内にアロハな雰囲気漂います。学校でもこのアロハ期間は、管理職を中心にアロハシャツを着用しています。当初学校で感じていた違和感はだんだんと薄れ、今では指宿の風物詩として楽しんでいます。

鹿児島市の研究組織と活動紹介

鹿児島市立生見小学校 上三垣 健士郎



県庁所在地である鹿児島市は人口およそ59万人。市町村合併により、南北に細長い形となっています。最近では、鹿児島ユナイテッドFC専用練習場や商業施設であるセンテラス天文館など、魅力的なスポットが続々と誕生し、ますます発展しているようです。

センテラス天文館は飲食店などの店舗だけでなく、展望所や会議場（センテラスホール）、図書館といった施設もあり、市民の憩いの場となっています。



市の南部、喜入地区で栽培が盛んなとうもろこしは、とても甘くておいしいと評判です。

地元の道の駅や無人販売所で販売されていて、学校給食のメニューに登場することもあります。

鹿児島市の学校事務研究組織について

鹿児島市には「鹿児島市学校事務研究会」と「鹿児島市事務職員会」の二つの研究組織があります。県事協に加入しているのは「鹿児島市学校事務研究会」で、64名の会員で活動しています。

研究会では、事例研修や県費・市費等手引き（事務マニュアル）の作成、市主催研修会へ向けた質疑事項の検討など、また、これ以外にも様々な内容に取り組んでいます。認定業務等を中心に行う支援室とは違った視点で参加でき、お互い交流を深めることもできる場は大変ありがたいです。



昨年11月には、3年ぶりとなる管外研修を実施しました。新型コロナウイルス感染症を考慮し、バス移動の日帰り日程で日置市の児童養護施設と日吉学園にお邪魔しました。会員27名の参加があり、施設参観や質疑応答、意見交換などを通して研修を深めました。

やはり、自分の勤務校を離れて現地に赴くことならではの気づきや学びがあります。

これからも、会員のために役立てる研修を企画・運営していければ、と思います。

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

鹿児島県福祉事業連絡会とは、教職員のための福利厚生事業を行っている、下記の5つの団体が構成する連絡会です。

公立学校共済組合鹿児島支部
鹿児島県学校生活協同組合

鹿児島県教職員互助組合
教職員共済鹿児島県事業所

鹿児島県教職員共助会

教職員の皆様が、学校・職場で安心して働くために、ご自身の健康管理や病気をした場合の給付、冠婚葬祭時のお祝い金や弔慰金、人生の将来設計のための各種保険(共済)などの福利厚生事業を行っています。

一般財団法人 鹿児島県教職員互助組合



住 所：鹿児島市照国町11-35
電 話：099-225-4555 FAX：099-222-7750

- 退職を予定されている先生方へ
退職すると現職組合員としての資格を失いますが、継続組合員として互助組合の事業を利用できる退職教職員互助制度(退教互)があります。
なお、退職時には、退職生業資金の給付及び積立金の還付があります。給付等の請求及び退教互への加入には、手続きが必要です。
- 「山の家・海の家」の利用状況
現職者の利用泊数は、大人1452泊、小人450泊でした。また、保養施設利用補助金の利用後は、アンケートへのご協力もお願いします。
- 特別保養施設利用補助
45歳または55歳になる組合員および昨年・一昨年度該当者で新型コロナウイルス感染症対策により延期申請された方が対象です。今年度末までが利用期間となっていますので、早めにご利用ください。
- 組合員特別給付金
組合員期間が10年以上で、50歳に達したときまでに、結婚歴・出産歴のない組合員に、50,000円を給付します。請求期限は3年間です。53歳の誕生日の前日までが請求期限となります。
- 貸付保証保険料及び貸付利率の改定
貸付保証保険料
2022(令和4)年7月1日から
住宅資金 年0.79%
その他の資金 年0.37%
貸付利率(年率)
2023(令和5)年1月1日から
すべての貸付(生活・結婚・自動車・住宅・教育・医療・高額医療) 年0.90%



学校生協からのご挨拶



新年おめでとうございます。
今年も学校生協、教育用品を
よろしく願いいたします。

県事協の会員の皆様方には日ごろから大変お世話になっております。

コロナ感染、今年は終わり? 普段の生活に戻れるのでしょうか? 本当の終息とまではいかなくても普通の生活レベルに戻って欲しいです。昨年11月から12月にかけて事務職員の皆様にとりかばんを送付したのですが、まだ届いていないと言う連絡(12月23日ごろです)があります。何回かに分けて送付したので届いていない学校もあったかもしれません。在庫はちゃんと確保してあります。ご連絡ください。2月までには完全に送付を終わらせたいと思います。

ReFa商品が人気です。私(迫田)もシャワーヘッドを買って使っています。これまでシャンプー後も若干のかゆみが残ったのですが、"すごい"の一言です。私はかゆみがなくなりました。友人の女性の方は髪がさらさらになりましたという報告もきています。お値段は若干高いのですが本当に良い商品ですので可能であればご購入下さい。

今年も様々な方法で広報活動に努めます。学校生協、福利厚生事務センター、教育用品とよろしく願い致します。

編集後記

新年を迎えても出口の見えないコロナ禍…。この書き出し、3年連続3回目です。もうそろそろ縁を切りたいものですが、死者数が増えるばかりの状況を見るにつけ、己の身を守る意識を強く持ち続けるに越したことはなさそうです。いつ終わるとも知れぬ我慢にもう飽き飽きなんでしょうか、法律上の分類を2類から5類へ移行して、マスクももう外しちゃって良いよね?と政府が言い出しています。ウイズの仕方についての考えは人それぞれでしょうから、大声で反対を唱えはしませんが、「死者の9割は高齢者だから」とか「高齢者の集団自決云々」とかという言葉を目にすると、どのような文脈であるにせよ、暗澹たる気持ちになってしまいます。

「人の命は地球よりも重い」と言ったのは昔の首相だったかと思うのですが、現在の、命自体に軽重をつけて憚らない風潮では「バカげた綺麗事だ。地球の方が重いに決まっている」と批判・冷笑的にされてしまうのでしょうか。

そんなどんよりした気分の中ですが、命自体は天秤で軽重を測れるようなものではないのだという綺麗事が、現実的な価値観になれば良いかと仄かに願う年頭の私であります。 ㊦